



アジア州

多様性と地域統合からみた東南アジア —東南アジアの歴史と文化を知ろう—

→ ねらい

「多様性と地域統合」に関して、地域(東南アジア)の具体的な事実を知る。

→ 学習課題

- 東南アジアは、どのような歴史を経て、今日に至るのだろうか？
- 東南アジアの文化には、どのような特色がみられるだろうか？

→ 学習の見取り図



▲東南アジア

A 多様性を生みだした歴史的背景



▲マレーシアの独立式典

B 多様な生活・文化



▲マクドナルド店内の礼拝室 (インドネシア)

中国とインドという文化圏の中間に位置する東南アジアは、海を舞台に人やモノが行き交う中継地として栄えました。

1世紀から6世紀にかけて、この地にヒンドゥー教や仏教・儒教が伝えられ、両文化圏の影響のもとに古代国家が成立しました。15世紀になると香辛料貿易を支配したアラブ商人によってイスラム教が伝わり、イスラム国家が誕生しました。16世紀以降は、タイを除く諸地域はヨーロッパ諸国の植民地となり、キリスト教をはじめとするヨーロッパ文化が伝わりました。

これらの植民地は、第二次世界大戦後、次々と独立を果たします。しかし、これらの国々は冷戦下の東西対立に巻き込まれ、さまざまな紛争に悩まされることもありました。

上の歴史的経緯からも分かるように、東南アジアの文化は多様性に富んでいます。東南アジアは、国家間はもとより、国内にも多様な人々が生活する多文化社会です。各地には、中国からの移民である華人も広く生活しています。

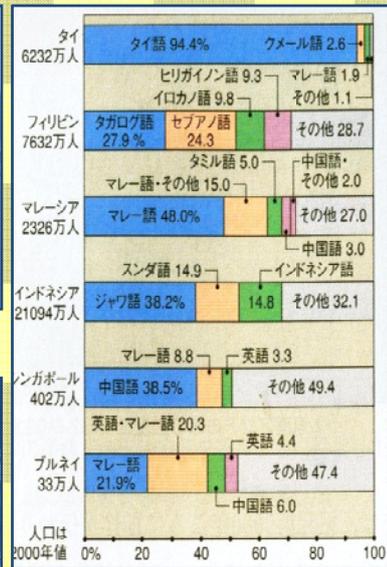
このような地域では、国家の政策・制度と人々の日常生活の求めに応じて、文化の強制と共生を同時に見いだすことができます。例えば、シンガポールの国語はマレー語と定められていますが、学校教育では英語が教えられ、街中では中国語が話されています。テレビやラジオでは、英語・中国語・マレー語・タミル語が使われています。宗教を異にする人々が一緒にパーティを催すときには、豚や牛を使わず鶏肉を使ったり、肉をいっさい使わないなどの配慮も行われています。



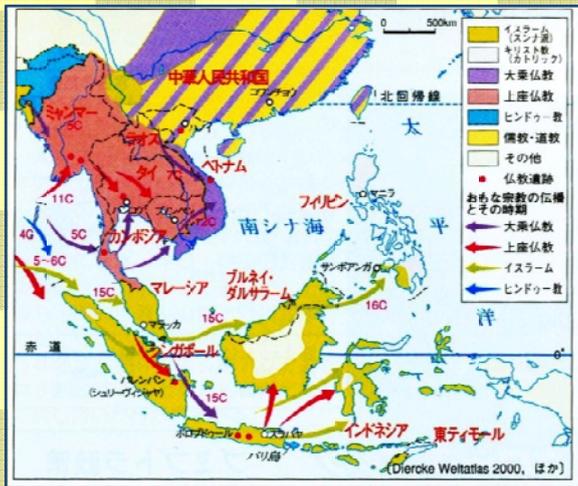
▼植民地化される東南アジア



▲托鉢をする修行僧(ラオス)



▲東南アジアの言語



▲イギリス統治時代の影響の残る町並み(シンガポール)

◀東南アジアの宗教分布

I

言葉の意味を調べる

1. 下の用語の意味を確かめなさい。

植民地, 多文化社会, 冷戦, 華人, 強制・共生, 国語

II

事実を比較・分類・概括する

2. 宗教分布図を見て, 東南アジアではどのような宗教が信仰されているか, 表にまとめよう。各地の写真から, 宗教が人々の生活に及ぼしている影響を見つけよう。



▲ヒンドゥー教の祭りの様子(インドネシア)

	主要な宗教	生活への影響
タイ		
マレーシア		
フィリピン		
シンガポール		

3. インドネシアでは, どのような言語・宗教が見られるだろうか。リストをつくり, インドネシアの特色をまとめよう。

言語			
宗教			
特色			

III

私たちの生活と結びつける

4. タイが東南アジアで植民地化をまぬがれたのはなぜだろう。理由を予想してみよう。

5. 私たちの生活には宗教にもとづいた行事や習慣がたくさん根付いています。身の回りにあるものを探してみましょう。

例) クリスマス, 初詣, お盆, 敬語...





アジア州

多様性と地域統合からみた東南アジア —東南アジアの歴史と文化を捉える概念をつくろう—

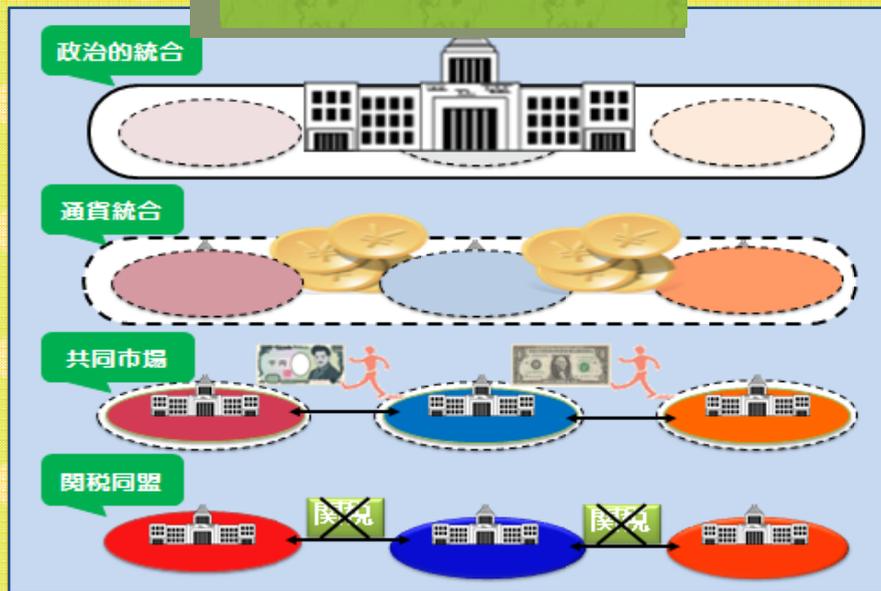
→ ねらい

「多様性と地域統合」の事実を説明する一般的な理論を知る。

→ 学習課題

- なぜ国々は国境を越えて統合するのだろうか？
- なぜ統合は難しいのだろうか？

→ 学習の見取り図



▲地域統合の4つの段階



経済的な地域統合



▲EU 共通通貨ユーロ



政治・経済的な地域統合

地域統合には、いくつかの段階があります。

第1段階は、経済的な共通政策を設けてまとまる段階です。一般には関税政策から始まります【ホップ】。域内では関税など貿易に関する障壁をなくしたり、域外の国に課す関税を共通に設定したりします。そうすることで域内の貿易は盛んになり、域外に対しても同じ条件で貿易できるようになるので、加盟国間の結びつきは強固になります。次の段階は、共同市場の設置です【ステップ】。これは、加盟国間の労働力や資本の移動を自由にする事です。経済活動は、さらに活性化します。最後の段階は、通貨の統合です【ジャンプ】。域内の共通通貨を設けることで、両替のコストが減ったり、為替レートの変動の影響もなくなるなど、メリットが期待できます。

これらの段階を経ることで、域内の経済的な結びつきは深まっています。世界各地では、必要と実情に応じて様々なレベルの統合を実現しています。

地域統合の第2段階は、政治的な共通組織を設けてまとまる段階です。例えば、加盟国の代表者で法を定める議会を設置したり、裁判所を設けたりします。また共通の憲法を制定することもあります。

しかし、統合が進むほど、各国の利害や独立性よりも、国家を越えた理念を追求することが求められるため、統合を進めるのは容易ではありません。



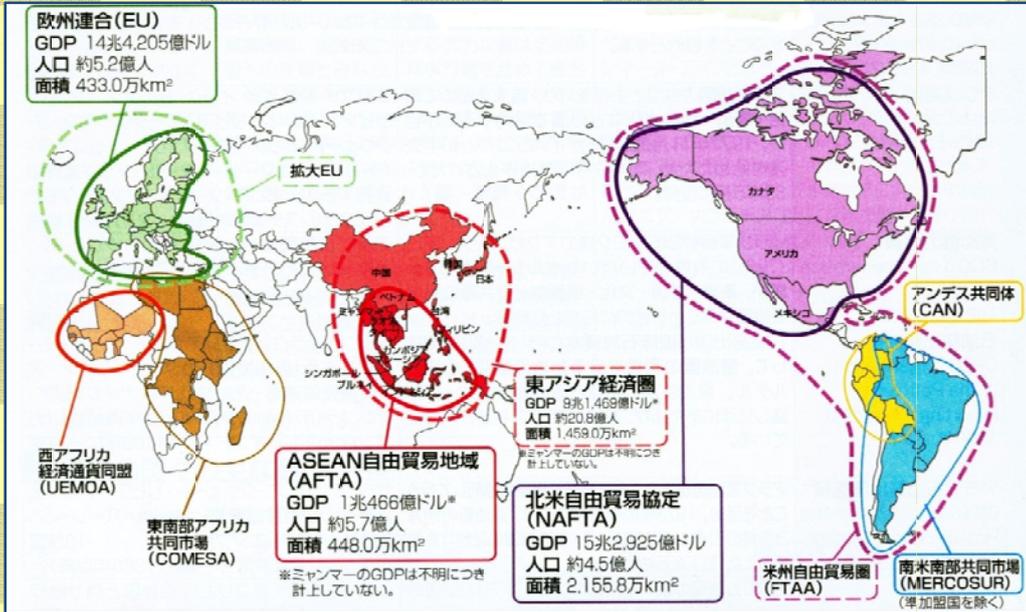


◀イギリスのポンド紙幣

イギリスは、どうして共通通貨のユーロを導入しなかったの
だろう？



▼世界の国々の主な結び付き



▲欧州議会(ストラスブール)



▲フランスとイタリアの国境



▲EUの国旗

I 言葉の意味を調べる

1. 下の用語の意味を確かめなさい。
関税, 共通市場, 共通通貨, 為替レート, 憲法

II 事実を説明する

2. 世界には、様々な地域統合の機構が成立しています。それぞれの機構の共通点と相違点を、下の表を完成させて説明しなさい。

機構名	地域と主な加盟国	機構の目的
ASEAN		
APEC		
EU		
MERCOSUR		

農家



反対です。なぜなら

大臣



賛成ですよ。なぜなら

労働者



悩むなあ。なぜなら

3. 地域統合への参加には、さまざまな意見があります。①アジアの経済大国の大臣, ②家族で米づくりをしている農家, ③自動車工場の労働者, それぞれの立場で、吹き出しにせりふを入れよう。

III 理論を応用する

4. 2で調べたことに基づいて、それぞれの地域統合の段階・程度を判別しよう。またその根拠を述べよう。





アジア州

多様性と地域統合からみた東南アジア —概念を活用して東南アジアの課題を考えよう—

→ ねらい

一般的な理論を通して、「多様性と地域統合」に関する地域(東南アジア)の課題を知る。

→ 学習課題

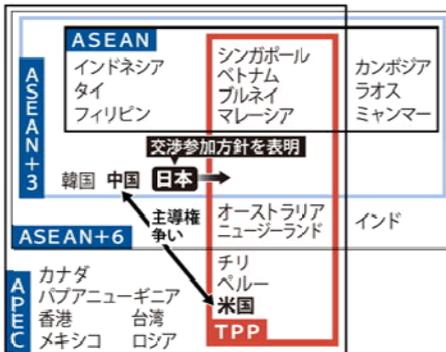
- 東南アジアの地域統合は、将来どのように進んでいくのだろうか？
- 日本は、アジアの国々ともどのように関わっていくべきだろうか？

→ 学習の見取り図



▲2005年クアラルンプールで開催された初の東アジア集合会議後に手をつなぐ各国首脳

A 拡大する地域統合



▲アジアの結び付きの構図



ASEAN はこれからどんな風に発展していこうとしてるのかな？

東南アジアとしてだけでなく、広く東アジアの国々ともつながりを強めようとしています。1997年のアジア通貨危機以来、ASEAN+3 や ASEAN+6での首脳会談も行われています。将来的には、EUのような東アジア共同体を創ることも考えられていますよ。



ASEAN のなかでも、より強い経済的結びつきをめざして、ASEAN 自由貿易協定(AFTA) がつくられたわ。

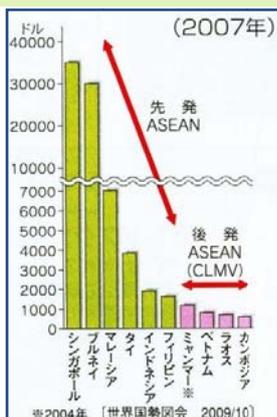
地域統合の動きは順調なのかしら？

なかなか大変みたいだ。アジアは文化的多様性に富んでいるだけでなく、解決できないままに先送りされている問題も少なくないみたい。それに域内の経済格差も大きいから、地域統合への不安や不信も大きいんだね。



ヨーロッパの例からわかるように、加盟国のなかに借金や失業者をたくさん抱える国が出てくると、通貨の価値が下がったり、地域全体の信用を失うなどのリスクもあるね。

B 統合への課題



▲ASEANにおける経済格差 (各国の1人当たりGDPの比較)



